

科目名	共生社会形成論	
担当者	江坂 正己 / ESAKA, Masaki	
科目情報	法ビジネス / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ [共生社会] が提起される背景を概観し、共生の諸相を一覧する。 ・ <子ども・子育て支援><子ども・若者育成支援>という次世代育成にかかわる [異世代共生] の諸課題を考察する。 ・ <男女共同参画>にかかわる [男女共生] の諸課題を考察する。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ <共生>、<絆>、<共同>などが課題となる現代的状況を理解する。 ・ 子育てや若者育成、男女共同参画の課題や支援の必要性を理解する。 ・ 支援を通じた社会関係が共生社会の内実を形成している点を理解する。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) はじめに (2) なぜ今、[共生社会]か (3) 共生の諸相・断面—<持続可能な社会>の観点と関連させて (4) 次世代育成の課題①—諸問題の概観 (5) 次世代育成の課題②—少子化社会対策基本法、少子化社会対策大綱 (6) 次世代育成の課題③—次世代育成支援対策推進法 (7) 次世代育成の課題④—少子化社会対策から子育て支援へ (8) 次世代育成の課題⑤—青少年育成大綱 (9) 次世代育成の課題⑥—子ども・若者育成支援推進法 (10) 男女共同参画の課題①—諸問題の概観 (11) 男女共同参画の課題②—男女共同参画社会基本法 (12) 男女共同参画の課題③—育児参加におけるパートナーシップ (13) 男女共同参画の課題④—ワーク・ライフ・バランス (14) とともに生きることはともに学び新しい関係を築くこと (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	・ 授業で取り上げる関連法や大綱類を確認しておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎回の授業の終了時に、小コメントの提出を課す。 ・ 配布プリントをファイルし、授業内容の再整理に努めること。
使用教材・参考文献	<p>【教】 特定の教科書は使用しない。</p> <p>【参】 内閣府『子ども・子育て白書』平成22, 23年度版、同『子ども・若者白書』平成22, 23年度版、文部科学省『文部科学白書』各年度版。その他、適宜、紹介する。</p>	
成績評価方法と基準	<p><基準> 到達目標に沿い総合的に評価し可否を判定する。</p> <p><方法> 修了レポート (試験) 70% 小コメント15% 受講態度15%</p>	
備考		